

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1 明るく元気な地域づくり

1-① 隣近所との交流

1-② 人が集い交流しあう拠点づくり

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	ふれあい いきいきサロン 助成事業	社協	身近な地域で仲間づくりや生きがいづくりの拠点の場としてのサロン活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの運営支援(報告書及び次年度申請書作成の相談受付、必要に応じた助言、情報提供等) ・地域の茶の間・いきいきサロン助成事業個別相談会 日時 令和8年3月19日(木)、23(月)、24日(火) 予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成を受けているサロンは57ヶ所 ・助成申請の負担を軽減するために、報告書様式について本部、各区社協と検討することができた。 ・継続運営の難しさを抱える団体へ引き続き支援する。
2	ふれあい いきいきサロン 立ち上げ支援	社協	高齢者等の閉じこもり防止や仲間づくり促進を目的として、居場所の意義を発信し、交流の場を求める地域へ、立ち上げまでの支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規立上げ:1カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン立ち上げ支援を継続する。
3	げんきに育つ親 も子も ～妊娠期から支 え、見守る～ 令和7年 主要事業	児童 福祉担 当	妊娠期からの母子を支援する体制をつくり、各種子育て支援事業を実施することで、親も親として育つことを支え、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートする。	<ul style="list-style-type: none"> ＜子育てサロン＞ ・区内中学校区4カ所 回数:60回、参加者数:1002人 ＜産前産後のリフレッシュ事業＞ ・パパママ銭湯 回数:18回、参加者:168人 ・デイケアルーム 回数:18回、参加者:111人 ・子育てサポーター訪問事業 養成講座4回実施、受講者延57人 訪問人数:218人 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内中学校区ごとに行っている子育てサロンは、パパママプ子講座と併せて今後も実施する。各会場の実情に合わせて回数を増やす見込。 ・産前産後の母親向けのリフレッシュ事業はキャンセル待ちが出るほど好評だったので、引き続き実施する。パパママ銭湯については増回見込み。 ・子育てサポーター訪問事業では、相談先や支援事業を紹介。活動継続の結果、紹介した事業の利用者が増えている。今後も引き続き訪問を続ける。
4	アキハ移動式こ どもの居場所づ くり事業【新規】 令和7年 主要事業	児童 福祉担 当	コミュニティ協議会、小・中学校等と連携しながら、既存施設を活用し、安心・安全に過ごせる新たな居場所づくりを行い、子どもたちに様々な遊びや学びを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 第1回(R7.7.4) 41人 第2回(R7.8.1) 29人 第3回(R7.9.5) 30人 第4回(R7.10.6) 41人 ※第5回(R7.11.7)、第6回(R7.12.5)は、クマの目撃情報があったため中止 ・会場 第1回～第3回、第6回:金津地区コミュニティセンター 中ホール 第4回、第5回:金津小学校 体育館 	今年度の事業実施で判明した課題を検証し、令和8年度は開催地区を5地区に拡大して実施。今年度実施した金津地域に加え、荻川・小合・小須戸・矢代田の計5つの地域で実施予定。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1-③ 人を支える組織の支援

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	地域ふれあい事業	社協	住民主体の地域福祉活動を実施した自治会・町内会に助成し、地域におけるふれあい活動を推進する。	・地域ふれあい事業 申請件数 69件	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動が進められるようになり、自治会・町内会で多世代交流や顔の見える関係作りの場として活用してもらい、申請件数が昨年度と比較して増加の見込みである。 ・引き続き事業の周知をし、地域におけるつながりや助け合い活動を推進する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1-④ 人材の育成とコーディネート機能の充実

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	地区社協育成・推進支援事業	社協	地区社会福祉協議会の活動が円滑にできるよう支援・助成する。	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協活動交付金 (11地区社協) 交付金額:各地区前年度社協会員会費納入額の25%+全地区前年度社協会費納入額総額×5%÷11地区 地域福祉活動計画推進事業 申請件数 22件 地区社協を主体として、地区担当が関わりながら取り組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回地域福祉懇談会(取り組みの確認、反省会)を開催した。 地区懇談会等をもとに各地区で地域課題に取り組むことができた。 地区社協が様々な地域課題等へ取り組めるよう地区社協交付金を交付する。 支え合いのしくみづくりや社会福祉法人公益事業等と連携した地域課題への取り組みを行う。
2	地区社協連絡会議	社協	各地区の活動等情報交換や交流を通して、地域における支え合い、助け合いを推進するため、「区社協福祉推進会議」を開催する。	<p>令和7年度は、地域で見守り支え合う関係を災害時の支援にも生かせるためにというテーマで開催 旧新津地区 8月1日(金) 旧小須戸地区 8月5日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 令和7年8月1日(金) 13:30~15:30 会場 新津健康センター はつらつホール 日時 令和7年8月5日(火) 13:30~15:60 会場 小須戸まちづくりセンター 多目的ホール 内容 <ul style="list-style-type: none"> 基調説明「西区災害ボランティアセンターでの取組み報告」 講師:新潟市西区社会福祉協議会 事務局長 阿部 正 秋葉区社協の活動について 説明:秋葉区社会福祉協議会職員 意見交換 参加者 コミ協・地区社協、自治会長・町内会長、民生委員児童委員、社協役員、職員 (1)111名 (2)30名 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりの希薄化や、孤立死や孤独死の増加が課題となっている現状、地域でつながりを持つことが重要であると考えられる。 災害時の助け合いについての講話を取り入れたことにより、地域で見守り活動に取り組むことの意義を共有する機会となった。 令和8年度は、地域福祉活動計画を策定する意義を学ぶことを通し、地域における課題発見から支え合い助け合う関係を構築するための取組を検討する内容と予定している。
3	地域福祉推進フォーラム	社協	少子高齢化、人口減少等により様々な地域課題に直面している中、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域共生社会」を目指し、地域住民や福祉関係団体、企業等が知恵を出し合いながら、課題に対する取り組みが進められている。その多様な福祉活動を学び、地域で支え合いの大切さを共に考え、広めていく機会とし、秋葉区地域福祉推進フォーラムを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 日時 令和7年10月17日(金)13:30 ~ 16:15 会場 秋葉区文化会館 内容 <ol style="list-style-type: none"> 社会福祉功労者表彰 被表彰者 10名・3団体 基調講演 テーマ:地域みんなで生活を支えるしくみをつくろう! <講師> ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏 実践報告会 <ul style="list-style-type: none"> ①社会福祉法人親和福祉会 様 ②ごうめおたすけたい(小合地区内自治会) 様 ③みんなのみかた応援隊(南区味方コミ協) 様 <コーディネーター> ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏 	<ul style="list-style-type: none"> 会場参加、オンライン参加のハイブリット形式、情報保障体制も整え、様々な方に安心して参加いただけるよう環境を整えて開催し、279名から参加いただいた。 実践報告では社会福祉法人、自治会、コミュニティ協議会の異なる視点の3団体から寄り添う取り組みを発表いただき、これからの地域福祉活動のあり方を考える機会や、取り組みに向けたきっかけとなった。 今後も地域における先進的な取り組みや福祉課題などをテーマにして、地域福祉の啓発に努める。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1-④ 人材の育成とコーディネート機能の充実(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
4	ボランティア講座	社協	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題に寄り添った講座を開催することで、誰もが安心して暮らし支え合う地域づくりへと繋げる。 親子の繋がりを深め、ボランティアへの興味を持ってもらうために開催する。 施設、ボランティア、地域が繋がるきっかけになるような事業を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア講座 親子「サイエンス☆ラボ」 35名(15組) 子ども達が自ら学び自発性を引き出す機会とする。親子で参加することで親子の関係を深める有意義な夏休みを過ごす機会とする。 ボランティア講座 障がいの理解のための講座(精神/知的) 精神障がい・知的障がいを理解する講座 34名 精神障がい、知的障がいの特性を学ぶことで共に暮らすためのヒントを学ぶ障がいの理解のすそ野を広げ誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指す。 ボランティア講座 「受け入れ施設担当者研修会」 10名 ボランティアの受け入れについての基本を学びボランティア受け入れについて改めて考えることで施設、利用者、ボランティアの良い環境作りを作ることを目的に開催 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がいの方の居場所を運営していたボランティアグループが解散したことや、社協への個別相談の中から精神障害の方への理解促進の必要性を検討し、精神障がいについて理解を深める講座を開催した。心の病気について理解を広げるきっかけとなった。 親子の繋がりを深めるサイエンス☆ラボは人気の講座でありボランティアについても学んでもらえる機会となった。 施設ボランティア受け入れ担当者研修は、施設が悩みなどを直接顔の見える状態で話し合い共有できたことで今後のボランティア受け入れについて考える良い機会となった。 令和8年度も引き続き、障がいの理解、親子、課題解決、ボランティアきっかけの講座開催を予定している。
5	ボランティア交流会	社協	<p>交流会を開催し、ボランティア同士の情報共有の場を設ける。また各活動の理解を深め、ネットワークの強化を図る。</p>	<p>日時 3月10日(火)13時～15時30分</p> <p>会場 新津地域交流センター3階</p> <p>参加対象 登録ボランティア(個人・団体)、地域の茶の間サロン関係者</p> <p>施設、企業、ボランティアに興味のある方</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1ボランティア活動披露 2ボランティア活動紹介、体験、先品鑑賞 3ボランティア交流 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア体験、学ぶ、交流の3つの内容で実施。 施設・企業・ボランティアの繋がりの時間となるよう開催 ボランティア活動の理解や情報交換の場として必要な機会なので、今後も開催方法を工夫し、継続して実施する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1-④ 人材の育成とコーディネート機能の充実(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
6	地域出前講座	社協	<p>学校、地域、各種団体に対し、福祉に関する理解と、啓発を目的に講座を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉教育(総合的な学習の時間)の支援・協力: 小学校9校、中学校3校 福祉体験(高齢者・視覚障がい・車いす体験・手話・ブラインドサッカー・音声訳)福祉講話(福祉・障がい・認サポ・高齢者・サロン・地域の取り組み)交流(盲導犬ユーザー・地域の茶の間) 地域での防災講座 1件 防災講座 放課後児童クラブ子ども向け 1件 手話講座 放課後児童クラブ 1件 認知症サポーター養成講座 ふれあい福祉サービス会員 支え合いのしくみづくり推進員による地域(サロン等)での出前講座 秋葉区全域 1カ所 (支え合いのしくみづくりについて) 新津第一・第二圏域13ヶ所(地域の見守りの必要性、支え合いの必要性、居場所の意義、緊急情報キットについて) 新津第五圏域 17カ所 (支え合いのしくみづくりについて、移動支援について、見守りについて、防災について) 小合・金津・小須戸圏域 11カ所 (支え合いのしくみづくりについて、サロンの役割・効果、見守りについて) 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉教育を行う学校が増えている中、学校側の学習の目的と検討協議することで、提案できるプログラムが増えている。 体験学習から地域の取り組みを知り、支え合い・助け合いの気持ちを持てるよう関係機関や障がい当事者から協力をいただきながら進めてきた。 交流方法としては地域の茶の間・サロンとの交流や地域のボランティアとの交流を行うことで地域福祉について身近に知ることができた 今後も学校、企業、地域等に福祉についての啓発ができるよう、様々な団体や人材とつながり、新たなプログラム作りや場作りをし、取り組みを継続する。また、学校が地域や施設との繋がりが深まるよう社協内でも連携し協力しながら行っていきたい。
7	元気力アップサポーター事業	社協	<p>65歳以上の高齢者が福祉施設(高齢・障がい・保育園・図書館・公民館など)でのサポート活動を行うことで自身の介護予防とともに、生きがいを見出し、元気になることでいきいきとした地域づくりを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 月1回登録説明会開催 説明会参加者延べ11名 出張説明会開催 4回 参加者 14名 秋葉区サポーター数 285名 受入協力機関 81施設 施設でのサポーター活動が可能になってきたため、話し相手や芸能関係のサポーターと施設の調整を随時行った。 また、随時出張説明会を開催しサポーターの増加を図った。 	<p>コロナ禍が明け施設もサポーターの受け入れを行うようになってきた。施設に行けなかったサポーターが積極的に施設への訪問活動を行うようになった。また、今までサポーターとして登録していなかった団体等へサポーター登録を促すことができた。これにより活動範囲の拡大や活動意欲の増加に繋がった。 R8年度も、登録をしていない団体等へ出張説明会を積極的に行い、サポーター登録を促進を行う。</p>

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2 安全で安心な地域づくり

2-1 安心して暮らせる支えあいの環境づくり

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	高齢者等 あんしん見守り ネットワーク 事業	高齢 当 介 護 担	高齢者等、地域の中で支援が必要と思われる方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域住民や協力事業者による見守り活動の中で異変等を発見したときに、すみやかに対応できる体制を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> 見守り意識の啓発 協力事業所としての登録の働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り体制の構築・維持には地域が主体となって行っていく必要があることから、支えあいのしくみづくりを進めていくなかで、コミ協など地域へ働きかけを行っていく。
2	子育て 支援施設	福 祉 児 担 童 当	地域の子育て支援の情報収集・提供に努め、関係機関と連携しながら子育て支援に関する支援・相談を行う。(秋葉区 子育て支援施設 4か所)	<ul style="list-style-type: none"> 各子育て支援センターでは、遊びの提供だけでなく、各種セミナーの開催、一時預かりの実施、子育てに関する相談への対応などさまざまな角度からの子育て支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉区内の子育て支援施設は4か所。今後もより多くの子育て世代から利用していただけるよう各子育て支援施設と連携し市民のニーズに合わせた活動を継続していく。
3	民生・児童委員 への支援	地 域 社 福 協 担 当	地域住民の相談や見守り活動などを実施している民生委員・児童委員を支援することにより、一層安心して暮らせる地域づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉区民生委員児童委員連絡協議会活動への協力 一斉改選に向けた自治会町内会への協力依頼 新任民生委員に向けた区独自研修の実施 会長会・地区定例会出席 個々のケース支援 	<ul style="list-style-type: none"> 定数136名に対し134名を委嘱することが出来た。引き続き、民生委員児童委員の活動を継続的に支援する。
4	妊娠・子育て ほっとステーション 事業 令和7年 主要事業	こ ども 支 援 担 当 健 康 増 進 係	妊娠期から子育て期(18歳未満)までの切れ目のない支援を行い、子育てについてひとりで悩まないようにサポートし、子育てしやすい環境を作る。	<p>子ども虐待予防ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 実務者会議の開催(9回) 個別ケース検討会議の開催(19回) 妊娠・子育てほっとステーション体制整備の会議、研修を実施(3回) <p>相談・受付件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口 3,024件 電話 1,131件 メール 2件 <p>相談内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 出産準備、産後の過ごし方、子どもの体重増加や発達、入園方法など 	<ul style="list-style-type: none"> 業務連携を見直したり、母子へのあるべき支援を考えることが出来た。引き続き切れ目ない支援のために、関係機関と顔の見える関係を築き、連携して対応する。
5	児童期・思春期 の子どもと保護 者の支援 令和7年 主要事業	こ ども 支 援 担 当	不登校などの子どもの課題に関する講演会や相談会を開催し、関係機関とも連携しながら、課題の解決を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 不登校などの子どもの課題に関する講演会・ワークショップ 開催回数:2回 参加者数:45名 不登校などの子どもの悩みを抱える保護者の相談会 開催回数:2回 参加者数:10名 子ども向け進路相談会 開催回数:2回 参加者数:9名 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会及びワークショップは、参加者アンケートの満足度も高く(90%以上)、内容についても好評であるため、次年度も開催し、参加者の抱える課題に応えられるよう努める。 相談会については、各関係機関と連携しながら相談者の課題解決となるよう、次年度も引き続き実施する。
6	障がい者用 住宅の整備	福 障 社 が 係 い	障がい者の住みよい環境づくりに資するため、障がい者用市営住宅の確保や住宅リフォーム資金を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> 住宅リフォーム資金助成 2件 障がい者用市営住宅 新規申請 1件 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き制度の周知に努め、障がい者の住みよい環境づくりに努める。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり (つづき)

事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
7 友愛訪問事業	社協	75歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯等を対象に、民生委員児童委員や訪問員が定期的に訪問し、見守り・声かけをすることで安否の確認を行い、孤独感の解消とニーズ把握に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問世帯数 855世帯 ・延べ訪問回数 7,727回 ・訪問員数 136名 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動のツールとして各地区で実施。訪問世帯数、延べ訪問回数ともに減少している。 ・民生委員児童委員と連携し、見守りを通していざという時に迅速に必要な支援につながるよう継続して実施する。
8 緊急キット配布事業	社協	75歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、緊急時に備えて連絡先等を記載した情報キットを配布し、緊急時に備えると共に、地域での見守りの仕組みづくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キット一式配布数 計462本(内無料配布数197本) <ul style="list-style-type: none"> 新津中央地区 85本(内無料配布数 80本) 新津西部地区 32本(内無料配布数 22本) 荻川地区 214本(内無料配布数 81本) 新津東部地区 100本(内無料配布数 0本) 阿賀浦地区 30本(内無料配布数 14本) 新関地区 1本(内無料配布数 0本) ・情報用紙更新 計316枚 <ul style="list-style-type: none"> 新津中央地区 94枚 新津西部地区 10枚 荻川地区 152枚 阿賀浦地区 60枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キットの配布を通して住民主体の訪問活動などが展開されている。緊急情報キットを活用した見守り活動を展開している地区もあり、有効的に活用出来ている。 ・情報用紙を記入しやすいように内容の変更を実施した。 ・次年度以降も実施地区への支援を継続し、未実施の地区については活用事例を通じて必要性を伝えていく。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
9	高齢者虐待に関する事業	介護高年齢担当	地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生委員などと連携を図り、虐待防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の虐待ケースに包括やケアマネなど関係者と連携して対応 ・過年度からの継続ケースも含め定期的にモニタリングなど実施 個別事例対応受付件数 34件 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待ケースは原因、状況がさまざまで、対応も個々に異なる。また、数年に渡り継続対応が求められるケースも増えつつある。引き続き、包括など関係者との更なる情報共有、連携を深め、緊急性を的確にとらえ迅速に対応していく。
10	地域包括ケアシステムの構築	地域福祉・高齢介護担当	<p>地域における支えあいのしくみづくり、支えあい活動の推進を図るため、支えあいのしくみづくり会議(協議体)を設置し、コーディネーター役である支えあいのしくみづくり推進員(生活支援コーディネーター)を配置する。</p> <p>地域住民同士の支えあいのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や、生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉区支えあいのしくみづくり会議(第1層協議体) ・新津第1・第2圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ・新津第5圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ・小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ※1 会議は7月、2月に開催 ※2 第1層、2層合同研修会 8月、1月開催 ※3 第1層および第2層支えあいのしくみづくり会議の運営事務局を、秋葉区社会福祉協議会に委託 ・秋葉区地域包括ケア推進モデルハウス「まちなかの茶の間 だんだん・嶋岡」 開催日:毎週火・土曜日 午前10時~午後12時00分(正午) 利用料:300円 内容:ティールーム、保健師・作業療法士による相談(月1回)等 利用者数:延べ1,335人(※1回あたり 18.5人) 8月こどもの居場所実施(計3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援および介護予防サービスの体制整備に向け、地域ニーズの把握やネットワーク構築、定期的な情報共有などを行い、地域の支えあい活動の一層の推進を図っていく。
11	地域包括ケア推進事業	社協	第1層(秋葉区全域)支えあいのしくみづくり会議(協議体)運営の事務局として、支えあいのしくみづくり推進員を中心に、協議体構成員や各種団体との連携を図るとともに、区全体の地域課題について検討協議し、地域福祉活動を支援する取り組みを進める。	<p>【第1層事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度第1回秋葉区支えあいのしくみづくり会議 日時:令和7年7月30日(水)10:00~11:30 内容:2層支えあいのしくみづくり会議報告 認知症について、社会福祉法人等の公益活動について ・令和7年度第2回秋葉区支えあいのしくみづくり会議 日時:令和8年2月25日(水)10:00~11:30 内容:1層、各圏域の活動報告 ・令和7年度のふり返り、令和8年度の取り組みについて ・令和7年度秋葉区社会福祉法人等ネットワーク研修会 日時:令和8年1月23日(金)14:00~15:45 テーマ:社会福祉法人と多様な団体のつながりによる取り組み ・各地区地域福祉懇談会(別紙のとおり) 	<p>【第1層】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人による地域課題に対する地域貢献活動の取り組みのきっかけや、地域とのつながりの重要性を周知する場として、研修会を開催した。支え合う地域づくりを進めるうえでも地域とのつながりは重要なテーマであるため、支えあいのしくみづくり研修会としても合同で開催し、各地区で取り組みを進める一助とすることができた。 ・ボランティア交流会では、モデルハウスだんだん・嶋岡のコーナーを設置し交流を深めることができた。 ・地域福祉懇談会を11地区で2回ずつ開催し、取り組みの確認や評価、次年度へ向けての取り組みが確認できた。 ・社会福祉法人、学校や企業等連携し、認知症サポーター養成講座等の取り組みを継続して進めていく。 ・地域課題にあった研修会を開催するなど第2層(地域)が取組みやすい支援を行っていく。R8年度は生活支援に関する研修会の検討を行う。 ・モデルハウスだんだん・嶋岡の課題等に対する取り組みを進めるとともに、引き続き連携しながら居場所の重要性を周知していく。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
11	地域包括ケア推進事業(つづき)	社協	第2層(日常生活圏域)支えあいのしくみづくり会議(協議体)運営の事務局として、支えあいのしくみづくり推進員を中心に、協議体構成員や各種団体との連携を図るとともに、小地域での見守りや生活支援の取組みなどの地域活動を支援する。	<p>【第2層 新津第一・第二圏域事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度第1回新津第一・第二圏域支えあいのしくみづくり会議 日時: 令和7年7月10日(木)10:00~11:30 内容: 令和6年度のふり返し、令和7年度の取り組みについて 令和7年度第2回新津第一・第二圏域支えあいのしくみづくり会議 日時: 令和8年2月12日(木)10:00~11:30 内容: 生活支援実践報告、今後の取り組みについて <p>【第2層 新津第五圏域事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度第1回新津五圏域支えあいのしくみづくり会議 日時: 令和7年7月7日(月)10:00~11:30 内容: 令和6年度のふり返し、令和7年度の取り組みについて 令和7年度第2回新津五圏域支えあいのしくみづくり会議 日時: 令和8年2月9日(月)10:00~11:30 内容: 移動支援検討の流れについて、今後の取り組みについて <p>【第2層 小合・金津・小須戸圏域事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度第1回小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議 日時: 令和7年7月9日(水)10:00~11:30 内容: 令和6年度のふり返し、令和7年度の取り組みについて 令和7年度第2回小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議 日時: 令和8年2月4日(水)10:00~11:30 内容: 令和7年度のふり返し、今後の取り組みの方向性について <p>・「地域の茶の間」「ふれあいきいきサロン」「老人クラブ」サロン情報交換会 日時: 令和7年10月27日(月)13:30~15:30 内容: 支えあいのしくみづくりについての講話、情報交換</p>	<p>【第2層】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区の課題は福祉懇談会を基に地区ごとに取り組みを進めていき、支えあいのしくみづくり会議では圏域共通の課題について検討してそれを地域福祉活動に活かすことでよりよい地域づくりにつなげることができた。 <p>〈地区ごとの課題に応じた取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンの立ち上げ、運営支援(情報交換会の開催) ・サロン等への移動方法の検討 ・社会福祉法人と連携した移動支援の検討、実施 ・除雪やゴミ出し等の生活支援の取り組みの検討 <p>〈支えあいのしくみづくりの各圏域のテーマ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援について ・移動支援について ・地域の茶の間、サロン等の居場所の交流について ・各圏域、課題検討に関するロードマップ等を参考としながら、検討を進めるとともに、今後も地域福祉計画・地域福祉活動計画と一体となった取り組みを進めていく。

資料1

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり(つづき)

事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
12 ゴミ出し支援事業	社協	既存の制度では対応が難しい複雑・多様化した生活福祉課題に対応するため、ゴミ出し支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施団体:4自治会・町内会(新町、秋葉2丁目、金津、小口) ・新津清掃社及び地域包括支援センターとの打合せ会を開催し、地域の状況を共有、意見交換を行った。(R7.10.30開催) ・3月に、今年度の取り組みに関するふり返し会を予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミだし支援で訪問するが、不在の場合が多い方については、自治会、民生委員、介護事業所等と連携して対応を検討している。 ・新津清掃社との打合せ会は、3包括支援センターも含めて開催した。ゴミ出し支援事業の取り組みに関して情報共有も密になった。 ・今後も地域と企業、介護事業所等が協力して取り組みが継続できるよう検討していく。
13 子育て支援事業	社協	こどもの社会的孤立の防止を図ることを目的とし、地域社会の中で子どもたちが気軽に参加できる居場所づくりを目指し、こどもの居場所の運営を行えるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規居場所開催団体 4団体 ・助成申請団体 6団体 ・2/20子どもの居場所活動団体情報交換会を開催予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり活動団体へ助成を実施。他団体の助成や寄付等の情報提供等を行い、運営支援を行った。 ・次年度も既存の団体へ継続支援、新規立ち上げ団体への立ち上げ支援を行う。
14 歳末たすけあい助成事業	社協	地域住民が主体となって行う歳末時期の交流活動や除雪支援活動に対して助成し、住民相互の助け合いの輪を広げ、日常の見守り活動を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会が行う交流事業に対し、助成を行った。→申請件数 27件 ・自治会・町内会が行う除雪事業に対し、助成を行った。→申請件数12件 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍から1年経ち、地域活動が進められるようになり、自治会・町内会で多世代交流事業として活用してもらい、申請件数が昨年度と比較して増加である。 ・継続して各地域における交流事業と、要援護者宅や児童通学路の除雪を通して、たすけあいや見守り活動を推進していく。
15 入学準備支援事業	社協	ひとり親世帯および低所得者(生活困窮含む)世帯の子どもたちに健全な育ちの機会と十分な教育を保障する一助として小学校及び中学校に入学準備としてランドセル又は体操着の購入助成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者:ひとり親世帯で市民税非課税世帯 ・助成件数 15件 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉区役所児童福祉係から協力をいただき、対象世帯への事業案内を行った。 ・同様の取り組みを行う団体が出てきていることから、社協としての取組みは一定の目標を達成したため、今年度で終了とする。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

2-② 安全で快適な生活環境づくり

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	災害ボランティアセンター運営事業	社協	災害時における秋葉区災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営の体制整備を行う。	<p>・令和7年度区社協福祉推進会議 日時:令和7年8月1日(金)13:30~ 新津健康センター 令和7年8月5日(火)13:30~ 小須戸まちづくりセンター</p> <p>テーマ:~災害時の支援にも生きる地域の「つながり」~ 参加者:コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会、自治会長・町内会長、民生委員児童委員協議会、新津青年会議所、秋葉区社協役員(141名)</p>	<p>令和7年度は、区社協福祉推進会議と兼ねて、「見守り合う」「支え合う」地域について考える機会として開催した。</p> <p>令和6年1月の能登半島地震で被災した西区の災害ボランティアセンターから、被災地で見えてきた地域のつながりや関係性の重要性について報告をいただき、平時からの「地域での見守り・支え合い」の大切さを改めて学ぶ場となった。</p> <p>令和8年度は、これまで整備してきた「災害ボランティアセンターマニュアル」が実際に活用可能かを検証・改善するとともに、関係団体や関係機関の強み・弱みを相互に理解し、より一層関係を深めていく。</p>

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3 健康で豊かな地域づくり

3-① 地域における健康づくりの推進

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	乳幼児健康診査・育児相談事業	健康増進係	乳幼児の健やかな発達・発育の支援と、疾病予防や早期発見を目的とする。健診や育児相談の機会をとらえて、子育てに必要な情報提供や保育者支援を実施。	<乳幼児健康診査> ・股関節検診：8回 受診者320人(受診率95.8%) ・母体保護相談：8回 受診者320人 ・1歳6か月児健診：9回・受診者303人(受診率96.5%) ・3歳児健診：9回・受診者347人(受診率100.9%) ・未受診者は全て情報の確認が行われた。 <定例日育児相談> ・定例日育児相談：9回・相談者 延370人(61人増加)	・各種健診の場面では、保護者の思いを受け止めたり、子育てに必要な情報を提供するなど支援を行うことが出来た。乳幼児健診未受診者へは地区担当保健師が全数の状況を確認し、育児相談を行う等支援ができた。 ・定例日育児相談の相談者数は延べ61人増加。体格や食事の悩みが多く適切な支援を行った。引き続き開催していく。
2	成人集団検診事業	健康増進係	各種がん検診を実施し、病気の早期発見、健康増進に努める。	・肺がん検診：24回+新津成人病検診センター等 受診者3,628人 ・胃がん検診：11回 受診者448人 ・乳がん検診：17回 受診者857人 * 肺がん検診は、定期的集団検診の他に未受診者対象のミニドック型健診を2日間(半日4回)、新津成人病検診センターで定例実施	<肺がん検診> ・受診者数は年々増加。引き続き受診勧奨を実施していく。 <胃がん・乳がん検診> ・胃がん、乳がん検診共に集団検診受診者数は横ばい。若い世代での受診率が伸びないため、引継ぎ普及啓発を実施していく。
3	歯科保健事業	健康増進係	各種歯科健診を実施し、治療が必要な歯を早期発見し、適切な治療につなげる。歯科指導の際に食生活やむし歯の予防について助言し、幼児の健全な育成を図る。	・1歳誕生歯科健診：9回 受診者304人(受診率90.5%) 栄養相談：69人 育児相談：11人 ・1歳6か月児歯科健診：9回・受診者303人(受診率96.5%) ・3歳児歯科健診：9回・受診者347人(受診率100.9%) ・2歳児歯科健診(施設健診)：受診者319人(受診率70.0%)※R6年度確定分	栄養相談、育児相談を併設することで、保護者の困り感や不安の軽減につながった。引き続き疾病の早期発見と、歯科衛生士・栄養士・保健師による子育て支援を行っていく。
4	特定保健指導事業	健康増進係	特定健診の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群と判定された方を対象に、メタボリックシンドロームを改善するため、生活習慣改善の支援を行う。	・特定保健指導の対象者に対し、特定保健指導の案内及び再案内を個別通知。 電話・訪問による利用勧奨を実施。 ・対象者180名(積極的36名、動機付け144名) ・保健指導実施者51名(積極的4名、動機付け47名) ・初回実施率28.3%	・対象者が年々減少傾向の為、夏時期、訪問勧奨を実施。初回実施率が増加。次年度も、引き続き定例日に限らず面接を実施。出席連絡のない方への電話勧奨し、実施率の増加を図る。訪問勧奨についても、対象者を絞って実施する。
5	健康教育事業	地域保健福祉担当	心身の健康に関する知識を普及啓発することにより行動変容を促し、主体的に健康保持・増進できるよう支援する。	・依頼健康教育：成人 11回 延べ174人、母子 3回 延べ67人	・成人は、地域のお茶の間等からの依頼により健康教育を実施。季節の健康管理やフレイル予防等の知識の普及を行うことができた。依頼がなかった団体の一部には、別の講座を実施した。母子は、幼稚園や子育て支援センターからの依頼が減少。保健師への依頼は減少したが、各施設で、テーマに合わせた講話等を実施している。引き続き、幅広い年代に向けて、健康づくりに向けた知識の普及を行う。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-① 地域における健康づくりの推進(つづき)

事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
6 食育関連事業	健康増進係	幅広い世代に亘って、食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会 :14回 113組 大人141人(講話内に減塩を加えた) ・健康増進普及講習会(テーマは糖尿病予防、減塩): 3会場8回 延べ111人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画したテーマで講話ができた。生活改善に取り組みたいなどの声が聞かれた。 ・今後も全世代の共通課題である減塩を啓発していく。 ・健診結果で血糖値有所見者率が高いことから、次年度も糖尿病予防をテーマに実施する。
7 思春期保健事業	健康増進係	思春期の心身の変化を学び、健全な発達・発育ができる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校、高校における思春期保健講演会の実施 「生と性の講演会」 区内高校1校・中学校4校5クラスで実施 受講生徒数:737人 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望した学校で予定通り実施できた。 ・思春期健康教育を通して、思春期の心身の変化や自他の命の大切さ、性の多様性について考えることができていた。次年度も秋葉区内の全中学校、高校に希望調査を実施し思春期教育の機会を提供する。
8 幸齢ますます元気教室(運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上複合プログラム)	健康増進係	生活機能の低下がある又はその恐れがあるなど要介護状態に陥りやすい高齢者や要支援認定者を対象に、集団で運動、栄養、口腔機能向上指導などを行い、生活機能の維持改善を図り要介護状態になることを予防する。	<ul style="list-style-type: none"> ・幸齢ますます元気教室 3会場で実施 参加者:実人数66人 延べ569人 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が集まる事業等で教室の周知を行い、対象者を教室につなげた。 ・修了後により多くの方が介護予防できる活動場所につながるよう支援した。 ・引き続き介護予防の必要な方が教室や活動場所につながるよう取り組む。
9 食生活改善推進委員育成支援運動普及推進委員育成支援	健康増進係	食生活改善推進委員及び運動普及推進委員の活動支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進委員育成支援 勉強会 延4回実施 食生活改善推進委員(会員38人) 延64人参加 勉強会のテーマを元に地区担当保健師・栄養士とともに、地区の健康増進普及講習会 8回開催 延べ111人 食推延べ24人 食推養成講座6回1コース開催 実人数13人 延べ76人 食推秋葉支部10人入会予定 ・運動普及推進委員育成支援 委員数 32人 連絡会に出席し、活動支援を実施 9回 延べ205人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定していた勉強会など実施できた。引き続き、食生活改善推進委員育成支援として、会員の資質向上を図れるよう、年4回の勉強会を実施していく。 ・運動普及推進委員の活動場所を拡げることができた。引き続き、活動が発展するよう支援を行う。運推養成講座6回1コースを開催し、会員の増を図る。
10 地域ぐるみでフレイル予防事業 令和7年度主要事業	地域保健福祉担当	フレイル予防を行うことで健康寿命の延伸を図る。地域のお茶の間等でフレイル予防の普及啓発、活動支援を行い、住民主体で健康づくりが行えるように支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師等による健康教育 : 59回 延べ1,123人 ・住民サポーターへの研修 : 1回 24人参加 ・ラジオ体操カード100日達成者数 : 延べ196人 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防教室は令和6年度で終了。各生活圏域での実施であったため、交通手段等の理由から参加者が限られてしまう状況があった。今年度は身近なお茶の間等で講座を実施した。また、他係との連携で普及啓発の機会を増やすことができた。 ・ラジオ体操カード100日達成者数が増加。運動習慣が定着してきていることも考えられる。 ・引き続き、身近な地域のお茶の間等で住民が主体となり健康づくりが行えるように支援を行う。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-① 地域における健康づくりの推進(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
11	こんにちは赤ちゃん訪問事業	健康増進係	新生児・産婦に対し健康指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 訪問登録助産師による訪問を実施した人数 産婦実人数244人 延べ277人 未訪問 7件 (全て状況の確認が行われた) 	<ul style="list-style-type: none"> 未訪問者のうち6名は転入前に訪問が完了し、現在は相談支援等が不要であることを窓口で確認ができた。残り1名については地区担当による面談を実施し、必要な支援を行うことができた。 全数対面で生活状況を確認し育児支援を行った。引き続き全数対面で支援ができるよう取り組んでいく。
12	健康相談事業	地域保健福祉担当	健康問題について個別に相談を行い、日常生活や食事の指導を通して生活習慣病を予防するとともに自らの健康管理ができるよう支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 定例日健康相談 :9回 実人数19人 延べ19人 骨粗しょう症予防相談会:8回 274人 	<ul style="list-style-type: none"> 定例日健康相談の予約状況は毎月ばらつきがあるものの、一定数のニーズがある。次年度も同様に実施していく。 骨粗しょう症予防相談会はがん検診、育児相談等の事業と併せて実施することで、幅広い層の受診につながった。次年度も、他事業と併設し、会場を分散させ受診しやすい環境整備を整えていく。
13	健康寿命延伸に向けた区役所事業	健康増進係	健康寿命延伸にむけ、地域の健康課題に基づき、区内のさまざまな機関と協働し、こどもを含めた幅広い世代を対象に、生活習慣病への関心を高め、健康自立ができるまちづくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 健康ミニ教室: 6回実施 延べ86人参加 からだづくり講座 :親子12組31人参加 運動普及啓発活動:2回実施 112人参加 健康長寿プロジェクト: 健康レストラン事業は登録店が57店舗となっている。 ひと・まち・みらいフォーラムは2月11日開催予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 成人向けの健康ミニ教室は生活習慣病予防についての理解度が80%であった。 からだづくり講座・運動普及啓発活動は子どもを含めた事業であったが、生活習慣病予防の理解度100%、運動意欲が向上した人の割合が95%であった。 健康長寿プロジェクトを含め、上記事業とも継続とすし、区民が生活習慣病予防への関心を高められるよう取り組んでいく。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-② すべての人が互いに尊重しあえる地域を実現するための啓発と普及

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	認知症サポーター養成講座	介護高年齢担当	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座の開催 開催数:23回 地域住民17回、小・中学校5回、大学1回 参加者(サポーター)数:543名 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き講座を開催し、認知症サポーターを養成していく。また、区職員を対象とした講座を開催し、職員の意識啓発を図っていく。 認知症サポーターを対象に、ステップアップ講座を開催する。
2	障がい者との交流の促進	福祉が係い	障がい福祉施設や地域の団体(コミュニティ協議会、自治会等)との交流を積極的に働きかけ、障がい者への社会参加・理解を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> どんちゃんまつり 開催日:9月13日(土) 癒しの福祉ゾーンまつり 新津B&G海洋センター工事のため中止 	<ul style="list-style-type: none"> 癒しの福祉ゾーンまつりは新津B&G海洋センター工事のために中止となったが、どんちゃんまつりは開催され、多くの地域住民も参加して交流が図られた。
3	あきはサポートネット 令和7年度主要事業	高齢介護担当	認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進するため、区民や団体、教育機関等とネットワークづくりを行い、区民協働による「認知症高齢者等と支える家族にやさしい秋葉区」を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉区認知症講演会 テーマ「SOSに気づき孤立させないコミュニケーション」 令和8年2月25日開催予定 認知症カフェ 年5回開催(5月、7月、9月、11月、3月)、11月までの参加者は68人。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症講演会や認知症サポーターステップアップ講座を開催するとともに、地域における認知症高齢者等の見守りについて意識啓発を図る。 秋葉区キャラバンメイトによる認知症カフェの開催支援を行う。
4	障がい者チャレンジ支援事業	福祉が係い	福祉施設に通所する障がい者に事務作業訓練の場を提供し、就労に向けた能力向上と生きがいのある生活を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 実習受入れ先:13ヶ所(区役所含む) (秋葉区役所、割烹一楽、森林農園、うららこすど 他) 実習状況:実施日数46日 参加延べ人数132人 	<ul style="list-style-type: none"> 区役所や民間事業所で実習を行い、就労に対する意識の変化や自信に繋がった。 各事業所へ障がい者への理解を進める。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-② すべての人が互いに尊重しあえる地域を実現するための啓発と普及(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
5	<p>「つながる」 「広げる」 障がい者 支援事業</p> <p>令和7年度 主要事業</p>	<p>障がい 福祉係</p>	<p>障がい児に関わる医療・保健・福祉・教育・労働などの各機関が保護者とともに必要な情報を共有するシステムづくりを行う。</p> <p>また、発達に支援の必要な児童の保護者に対する講座を行うことで、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進し、不安感や孤立感の解消を図る。</p> <p>市民を対象に、障がい者への理解を深め地域で支える仕組みづくりを考える講座を開催し、支援者等の輪を広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル 利用者(配付)数 75人(延べ414人) ・ノーバディズ・パーフェクトプログラム講座(保護者支援講座) 参加希望者が少なく中止。 ・秋葉区障がい者理解促進に関する講演会 「福祉をひらく。みんな「で」話そう、福祉のこと」 開催日:3月1日(日)実施予定 第1部 講演会(定員80名) 講師:小松理虔 第2部 哲学カフェ(定員20名) ファシリテーター:水島優 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規サービス利用の相談時等に「つながる支援ファイル」を配付した。次年度もファイルの配付を継続し、関係機関が必要な情報を共有して支援を行えるよう活用を図る。 ・保護者支援講座は、年々参加者が減少しているため、今年度で終了とし、療育教室などを利用している子どもの保護者同士が、悩みや心配ごとを共有できる場づくりは継続していく。 ・次年度も障がいへの理解を深め、地域で支える仕組みづくりを考える良い機会となるよう講演会を開催します。

資料1

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

4 相談しやすい体制づくり

4-① 地域福祉のネットワークの構築

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	ふれあい福祉サービス事業	社協	秋葉区在住のひとり暮らし高齢者等(利用会員)の依頼により、ボランティアとして登録する協会員が自宅に訪問し、見守りや話し相手を兼ねた軽微な生活支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 協会員 47名 利用会員 51名 サービス提供回数 1,338回 活動時間 945時間 福祉サービスの提供、コーディネート、関係機関等との連絡調整 ふれあい福祉サービス交流会及び研修会の開催 日時:令和7年12月4日(木)13:30~15:30 参加者:14名 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスを提供することが在宅で過ごすための一助となっており、ゴミ出し・掃除などの利用が中心であった。 昨年度に引き続き、協会員を対象に交流会及び研修会を開催し、認知症サポーター養成講座を行ったことで、より利用会員に寄り添った支援が期待される。 今後も利用者ニーズに対応できるようサービス内容の検討、協会員の確保と住民参加型在宅福祉サービスに対する理解を深めていく。
2	成年後見人制度の周知	介護高齢担当	認知症や障がいなど判断に支援を要する方々に、それぞれのレベルに合わせて後見人、保佐人、補助人を家庭裁判所が選任し、必要な支援を行う制度について、周知啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット等による周知啓発 成年後見制度利用支援助成金 35件交付 成年後見審判 市長申立 3件 	<ul style="list-style-type: none"> 制度利用を必要とする人への周知を図るため、地域包括支援センターと協力し、地域の啓発活動を進める。 成年後見センターとも連携していく。
3	日常生活自立支援事業	社協	判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者の福祉サービスの利用援助や金銭管理等を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 秋葉区 14人 生活支援員 秋葉区 7人 支援回数 秋葉区 343回 相談件数 秋葉区 76回 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉関係者等に対して、本事業の周知を継続する。 本人の自立を大切にしながら、生活支援員、専門員、関係者等との連携を密に行い、自己実現に向けた支援を行う。
4	自立支援協議会	障がい福祉係	障がいのある人もない人も安心して暮らせる共生社会を実現することを目的として、関係機関が連携・一体となって障がいのある方を支援するために協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 市役所障がい福祉課開催 全体会議 1回 運営事務局会議 3回 秋葉区障がい者地域自立支援協議会 3回 課題別ワーキング検討会 2課題 各3~4回 相談連絡会 計5回(うち第5回は高齢福祉・障がい福祉連携チーム会議) 障がい児「つながる」支援セミナー 開催日:8月1日 参加者:49人(区内小・中学校、特別支援学校、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、相談支援事業所 など) 	<ul style="list-style-type: none"> 区協議会で地域課題等について情報共有し、検討を重ねる中で、関係機関とのネットワークを構築することができた。 各区で課題を出し合い、課題整理や社会資源の開発・改善、施策提案などの役割を担っている。
5	保健福祉相談・訪問指導事業	福祉地域担当 保健	精神障がい、知的障がい、身体障がい、児童虐待、高齢者虐待、結核、難病、生活習慣病など、妊婦・乳幼児から高齢者までの保健・福祉に関する相談に対して、関係機関と連携し、迅速に対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦・乳幼児から高齢者までの保健・福祉の相談に対して、保健師が関係機関と連携し迅速に対応。 相談件数 延べ 1,228人 訪問件数 延べ 640人 	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数、訪問件数ともに増加。 緊急対応が必要な相談や処遇困難な相談も多く、より迅速な対応が課題。 日頃から他機関と密な連携を図ることができ、関係機関と役割分担をしながら対応できた。 次年度も関係機関と連携し、迅速に相談対応していく。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

4-① 地域福祉のネットワークの構築(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
6	ドメスティック・バイオレンス(DV)相談窓口	保護係	ドメスティック・バイオレンス(DV)について相談しやすい環境づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談 <女性相談支援員1名配置> 相談件数(実件数) 41件 相談件数(延件数) 113件 内訳: DV49件、親族からの暴力34件、離婚問題8件 など 	<ul style="list-style-type: none"> DVや離婚に関する相談では、貧困、虐待、医療など複合的に問題を抱えた相談者が多かったが、配偶者暴力相談支援センターや生活保護担当等と連携し支援を行った。 FMIにいつ等を活用し、相談窓口や制度の周知を行った。 次年度も配偶者暴力相談支援センター等と連携し、支援を実施していく。
7	生活困窮者相談支援	保護係	経済的に困窮している方について、相談しやすい環境づくりに努め、就労に向けた支援や住居確保のための支援など、相談者の状況に応じた支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立支援相談 <生活支援相談員1名配置> 新規相談件数(実件数) 10件 継続案件相談等件数 17件 	<ul style="list-style-type: none"> 就労、住居確保、家計改善、食糧支援等の支援が受けられるよう、パーソナルサポートセンターやハローワーク等の関係機関と連携した支援を行うことができた。 FMIにいつ等を活用し、相談窓口や制度の周知を行った。 次年度も就労、住居確保、家計改善、食糧支援などをの支援を実施していく。
8	生活困窮者緊急支援事業	社協	緊急的に支援が必要な生活困窮世帯に対し、食糧物資等の援助及び相談支援、生活支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者からの相談により聞き取りを行い、パーソナルサポートセンター等関係機関と連携して支援を行っている。 申請件数 1件 	<ul style="list-style-type: none"> パーソナルサポートセンター等関係諸機関と連携して相談支援や食糧支援などを実施した。次年度も同様に事業を実施していく。

4-② 適切な情報提供体制づくり

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
1	点字広報等発行事業	福祉係	令和6年度で事業を廃止(令和7年度は代替手段を案内)	—	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体の育成を目的に実施してきたが、概ね自立しており達成されていることと、発行物に公益財団法人等が作成配布する代替手段があるため、令和6年度で事業を廃止。
2	心配ごと相談所の周知	社協	相談所を週2回開設し、市民の悩みを受け止め関係機関につなぐ。	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数: 180件 周知: 区役所だより(月2回)、区社協だより、区社協ホームページ掲載 相談員研修会: 令和7年11月10日(月) 講師 LGBTにいがたLove1peace 代表 高橋 佳生 様 	<ul style="list-style-type: none"> 相談内容に応じて、関係機関へつなぎ、連携した支援になった。 区社協だよりや区役所だよりへ掲載し、周知・広報活動を実施する。 相談者に寄り添った相談対応を継続する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021-2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

4-② 適切な情報提供体制づくり(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和7年度実施状況(令和7年12月末現在)	評価・課題(令和7年度)と次年度計画(令和8年度)
3	障がい者 基幹相談支援 センター秋葉 の運営	障がい 福祉 係	<p>一般的相談支援に加え、施設からの地域移行促進に係るコーディネート業務や、権利擁護・虐待防止にかかる啓発、研修、相談支援事業所への研修を通じた人材育成や助言指導なども行う。また、障がい等を理由とした差別に関する相談対応、障がい者が安心して地域で暮らせる体制を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者基幹相談支援センター秋葉」相談員4名(担当エリア:秋葉区、江南区、南区)相談件数 3,051件(訪問165件、来所292件、電話2,201件、その他393件) ・個別支援(ケース)会議 59回 ・会議、研修会への参加 231回 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人もない人も安心して地域で暮らせるように、総合的な相談窓口として更に周知を行う。
4	社協の相談窓口体制整備	社協	<p>コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、個別課題等に対する検討・解決を図り、関係機関と連携をしながら積極的にアウトリーチを進める。ひとり親世帯への食料支援を実施する。また、昨年度ひとり親世帯の福祉に関するアンケート調査を行った結果をもとに、地域との関係団体等と連携し、地域づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親世帯への食料支援(配布数240世帯)子育て支援関係団体との意見交換実施 ・ひきこもり家族支援: (1)ひきこもり家族の懇談会 ファシリテーター:長岡崇徳大学客員教授、秋葉区社協実施:3回(8/26、10/23、2/18) (2)ひきこもりに関する講座(参加者35名) 日時:10月23日(木)13:30~ 講師:長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子氏 内容:「ひきこもりの正しい理解と支援」 (3)ひきこもり支援連絡会 実施:2回(6/26、8/26) 参加者:ひきこもり世帯に関わる関係機関 ・地区担当との協働により、個別課題等に対応 ・関係機関や地域住民との個別ケース会議の開催 ・地域アセスメント ・CSW定例会(本部開催への参加、活動報告及び事例検討随時) ・各種会議等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉区役所児童福祉係の協力によりひとり親世帯へ食料支援を実施した。同様の活動を行う団体が出てきており、食料支援については社協としての取組みを今年度で終了とする。 ・令和5年度に実施したひとり親世帯の福祉に関するアンケートを基に、ひとり親世帯が抱える課題について、今後も支援できるよう検討していく。 ・ひきこもり支援については、関係機関が協働できるネットワークをつくるため支援連絡会を年2回のほかに随時開催する事例検討の場としても活用できるようにする。 ・関係機関と連携し、自治会・町内会・民生委員等の協力をいただきながら、課題を抱える方への個別支援および地域支援を実施。 ・次年度も、地域住民・関係機関との連携を密に、取り組みを進める。